

海老名総合病院

泌尿器科 後期研修プログラム

1. 当診療科の特徴

海老名総合病院は 400 床を越す総合病院であり、神奈川県県央地域の中核をなす急性期病院です。近隣に泌尿器科を標榜する医療機関が少ないこともあり、癌治療から良性疾患の治療まで幅広い泌尿器科領域の診療を行っています。

2. 診療内容

- ①外来：主に隣接する海老名メディカルプラザで月曜日から土曜日まで行っており、1 日平均約 60 人を診療しています。
- ②病棟：入院平均患者数は 2014 年の平均で約 16 人です。入院診療に関しては、常勤医である医師 6 人でチーム医療体制をとり、毎日の回診や週 2 回行われるカンファレンスで治療方針の決定を行っています。
- ③手術：手術件数は 2014 年で 668 件（前立腺生検 240 件含む）を行っています。主に癌に対する手術が多く、開腹ならびに腹腔鏡下で行っています。他の特徴としてこの地域ではほとんど行われていない尿失禁や骨盤臓器脱の手術（TOT・TVT、TVM・腹腔鏡下仙骨膿固定術：LSC）を行っています。また、精索静脈瘤に対して顕微鏡下低位結紮術や小児の停留精巣、陰嚢水腫、包茎の手術なども行っています。

3. 学会・研究活動

主に日本泌尿器科学会、日本泌尿器内視鏡学会への参加ならびに発表を行っています。また、その他の泌尿器科領域の関連学会への参加、発表も行っています。ちなみに 2015 年は日本泌尿器科学会総会、American Urological Association での発表を予定しています。

4. 研修指導体制

2014 年 3 月現在、以下の常勤医 6 名で指導を行っています。

川村直樹（かわむら なおき） 泌尿器科部長、臨床工学科部長、 介護老人保健施設アゼリア施設長	
大学	1977 年日本医科大学卒業
資格	医学博士、日本泌尿器科学会専門医・指導医
服部智任（はっとり ともたか） 海老名総合病院副院長	
大学	1985 年滋賀医科大学卒業
資格	医学博士、日本泌尿器科学会専門医・指導医
小林博仁（こばやし ひろひと） 泌尿器科医長	
大学	2000 年順天堂大学卒業
資格	医学博士、日本泌尿器科学会専門医・指導医、がん治療認定医

小池響子（こいけ きょうこ） 泌尿器科医員	
大学	2005年産業医科大学卒業
資格	日本泌尿器科学会専門医
田邊邦明（たなべ くにあき） 泌尿器科医員	
大学	2008年日本医科大学卒業
資格	日本泌尿器科学会専門医
牧 泰宏（まき やすひろ） 泌尿器科医員	
大学	2011年宮崎大学卒業

5. 研修プログラムの概要

- ①行動目標：良性、悪性の疾患に偏らず、広範囲にわたる泌尿器科領域疾患を経験することにより、泌尿器科医としての必要な知識ならびに診療・手術技術の習得を目指します。
- ②経験目標：1年目はチーム医療の一員となり、病棟業務ならびに検査・手術などを行い泌尿器科疾患全般の病態生理や治療を理解することに努めます。2年目以降は可能であれば外来業務も行い、外来から入院治療までトータルに患者さんの治療を行えるよう目指します。
- ③泌尿器科専門医資格の取得：当院は泌尿器科専門医教育施設の認定を受けています。ただし、専門医認定に必要な研修期間は卒後研修2年に泌尿器科専門研修4年を加えた計6年（卒後満6年）となっています。後期臨床研修医終了後すぐに泌尿器科専門医の申請が可能になるわけではないのでご注意ください。なお、泌尿器科専門医に関する詳細は日本泌尿器科学会ホームページにある専門医制度 (<https://www.urol.or.jp/specialist/index.html>) を参照してください。